

「祈りつつ生きる」 <先週の講壇より>

「しかしイエスは、寂しい所に退いて祈っておられた。」ルカ 5:16【口語訳】

今や日本ではクリスマスを祝う（楽しむ？）のは当たり前、イースターもイベントとして持たれるようになりました。しかしながら多くの人は、それが何を意味しているのかわかりません。そして実はバレンタインデーもキリスト教由来なのだという事は、もっと知らないことでしょう。

西暦200年代、ローマの皇帝は兵士の結婚を禁止していました。それは妻を持つと戦意が失せる、士気が下がる、といった理由からです。そんな中、司祭であったウォレンティヌスは「それは聖書の教えに反するものだ、イエス様の愛の中に生きるべきだ」という信仰を貫き、皇帝に背き、兵士たちの結婚の司式を執り行いました。そしてウォレンティヌスは処刑され、その日が2月14日だった、そこから愛の日として祝われるようになった、ということです。

主の御旨が何か、主が何を私たちに示しておられるのか、祈り求めて歩む者には、それが明らかにされていくということでしょう。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2026年2月22日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「わたしたちにも
祈ることを教えてください」

ルカ11:1

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

聖書クラス : 10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

